

代表理事 紀ノ定保臣

岐阜大学

カルテ：IBM

生体の機能を可視化、定
量化、評価する研究を進
めています



理事 近藤博史

鳥取大学

カルテ：IBM

放射線科専門医としてデジタル画像の画質評価から始め、大阪大学病院のRIS, PACS開発導入

2003年国立大学で初めて鳥取大学病院の電子カルテの100%稼働

2008年日本で初めてシンクライアントシステムを病院システム基盤に導入、

今年、地域連携システムを世界標準IHE-ITIをシンクライアント基盤上で統合IDで稼働。

現在、地域医療連携システムコンテンツ標準化のため、IHE-XDSのデータ解析中、診療情報からの研究データをシンクライアント上で管理するシステム導入計画中

将来、SDMをこれらに用いて病院内、地域医療データの2次利用の効率化をさせたい。

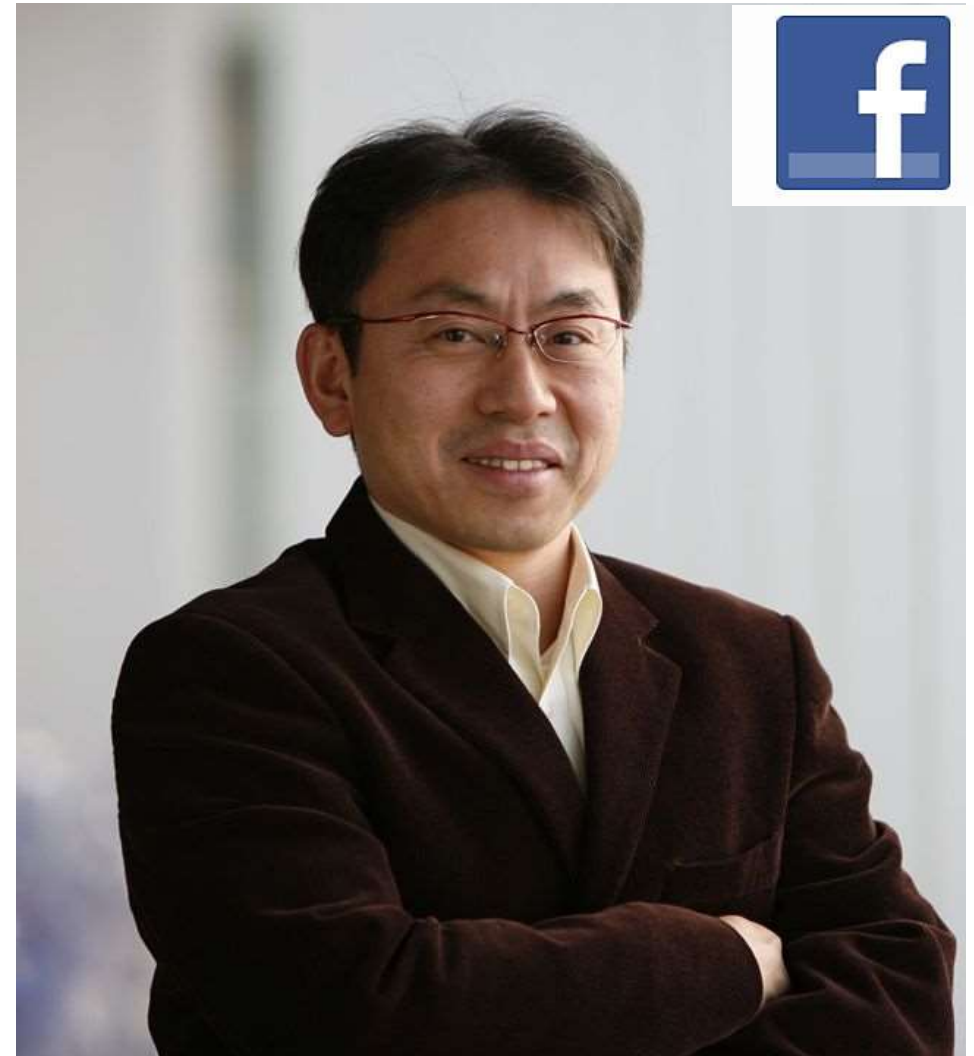


理事 村垣善浩

東京女子医科大学

カルテ：富士通

脳外科医として医療機器の臨床試験に携わってきて、臨床データ整備の重要性を実感しています。そのためにSDMが利用できることを期待しています。



理事 木村映善

愛媛大学

カルテ：IBM

医療に貢献できるシステム
は何か？ということを日夜問
い続けてきました。

診療業務を支えるためのイ
ンフラとしてのシステムから、
医療に関わっていくシステム

への変換期にあって、お手
伝いしていきたいと思ってい
ます。



理事 島井健一郎

徳島大学

カルテ：NEC

医療における知識処理
や知識構造化に興味を抱
いています。

医療情報業務を行ない
ながらも、診療業務を記
述する

情報/データモデルの構
築に注力しています。



理事 兵藤敏美

済生会習志野病院

カルテ：富士通

現在病院の企画戦略室にてデータ分析、経営企画を担当しています。データを有効活用できる環境の整備、人材育成をテーマに

富士通ユーザー会やホスピタルショウ実行委員会などで活動しております。



理事 島川龍載

広島赤十字・原爆病院

カルテ：NEC

現在、病院のシステム、ネットワーク、セキュリティの運用管理全般に従事しており、データの利活用と安全管理に力を入れています。

特に、統計分析やデータマイニング等を活用して、病院として経営改善や医療の質向上に対して積極的に取り組んでおり、本SDMコンソーシアムを通じて、ユーザの立場で意見を発信できるように尽力していく所存です。



監事 本多正幸

長崎大学

カルテ：NEC

長崎大学病院で、患者情報の2次活用システムを構築しつつあります。いろいろな問題があり、苦慮しています。この研究会での成果、先進的な皆様の取り組みを、参考にさせていただければと希望しています。

平成20年度から3年間、平成23年度から3年間、日本医療情報学会の課題研究会（DWHを主テーマ）を紀ノ定先生と主催させていただき、参加者の本テーマに対する期待の高さを実感してきました。よろしくお願ひします。



理事 鈴木英夫

株式会社MoDeL

カルテ：全社

IBMでCADの研究をやるためにPACSを作り、分析をやるためにDWHを作りました。そしてユーザー側に立つため独立し、まったく新規にSDMを考案しました。



事務局

矢田睦美
日本アイ・ビー・エム



佐々木修
株式会社ナイス

